

サイバー攻撃による被害について

インフォコム株式会社の親会社である帝人株式会社が発サイバー攻撃を受け、以下の発表がありましたのでお知らせいたします。なお、流出した可能性がある情報の中にインフォコムグループの従業員情報が含まれていますので、今後の対応については帝人株式会社と連携し進めてまいります。

2015年7月31日

帝人株式会社

サイバー攻撃による被害について

帝人株式会社におきまして、サイバー攻撃による情報の流出被害が確認されましたので、経緯と今後の対応についてお知らせいたします。

ご関係の皆様にはご迷惑、ご心配をおかけすることとなりまして、深くお詫び申し上げます。

1. 流出した可能性がある情報

帝人グループ従業員の氏名、社内ネットワーク ID、帝人メールアドレス、メールに付随する所属情報、約 1 万人分の情報です。詳細の調査および関係者へのご連絡を開始しておりますが、現在のところ、二次的被害は確認されておりません。

2. 経緯

2015年7月21日に業務用パソコン1台がマルウェアに感染したことが確認されましたため、調査を行いましたところ、当該パソコンから情報が流出したことが7月29日に判明いたしました。

3. 今後の対応

当社は、情報流出の判明後、直ちに全従業員の社内ネットワークIDのパスワード変更などの被害拡大防止策を実施いたしました。

今後も、調査結果などを踏まえ、全従業員に対して情報の取り扱いや不審メールへの対処法について改めて周知徹底することにより、情報セキュリティ意識の向上を図りますとともに、セキュリティに関する機器の増強を含む業務システムの検討を行うなど、再発防止に努めてまいります。

以上